



特集

Special Edition

JULY

絵本が深める親子の絆

きずな

～赤ちゃんにとって大切な触れ合いと語りかけの時間を
ブックスタートがお手伝いします～

色彩豊かな絵や物語を読む優しい声に、自然と赤ちゃんの顔に笑みがこぼれてきそうです。

絵本を通じて乳幼児期の子育てを応援しようと、ブックスタート事業を始めました。

問 中央図書館 25・7316

▼「こんにちは赤ちゃん訪問員さん」が絵本をプレゼント



ブックスタートとは？

生活が便利になる一方で、育児環境が変化し、赤ちゃんに触れ合う機会がだんだん減ってきているようです。

ブックスタートは、赤ちゃんと保護者に、絵本を開く楽しい体験と心が触れ合うひとときを持つきっかけをつくる活動です。

保護者をはじめ、たくさんの方が赤ちゃんと一緒に時間を過ごし、愛情に満ちた「ことば」を語りかけることで、赤ちゃんは自分がとても大切にされ、愛されていることを知り、喜びを感じます。

赤ちゃんの幸せは、そんな時間の中で芽生え、広がり、はぐくまれていくものです。

絵本は、このような時間を、ごく自然につくり出すことができます。

また、市民参画による子どもを育てるまちづくりを推進するという「フロム0歳プラン」の具体的な取り組みの一つとして、ブックスタートを行っています。

そして、この活動は、図書館、保健センター、こども課、子育て支援センターやボランティアなど、さまざまな機関の人が立場を越えて、「赤ちゃんの幸せを願う」気持ちを共有しながら実施しています。